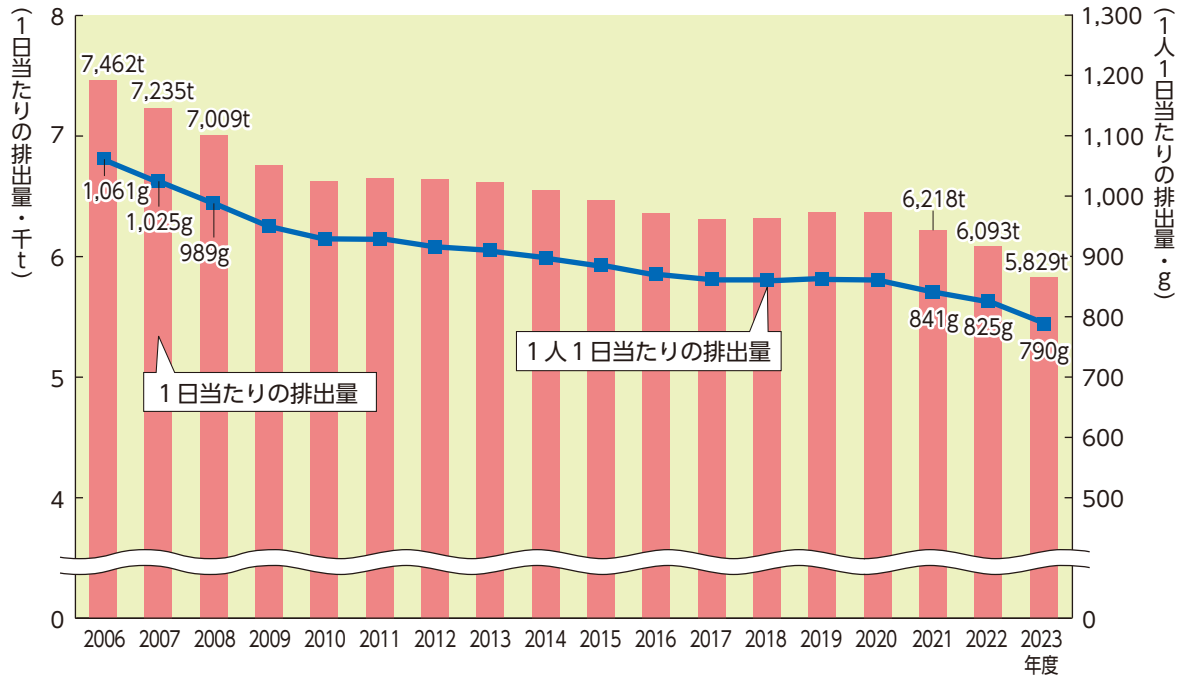


12 環境

① 1日に出るごみの排出量の推移



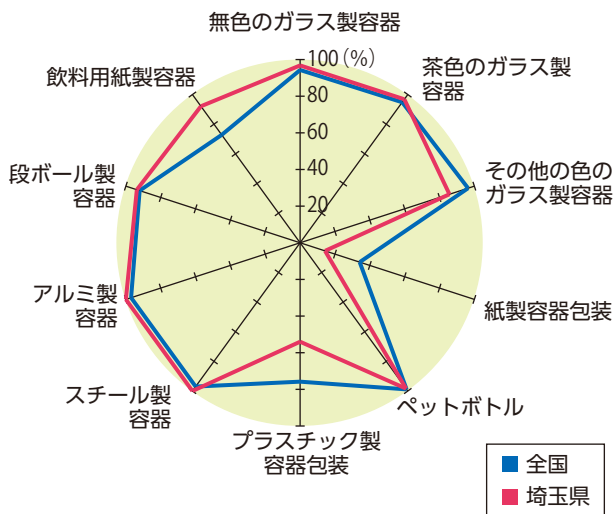
↑ 2023年度のごみの総排出量は2,133,356tで、1日当たりの排出量は約5,829tでした。1人1日当たりの排出量は2006年度から減少傾向であり、2023年度は約35g減少しました。

注) 1人当たりの排出量は各年10月1日現在の住民基本台帳に基づく人口による。
資料：県資源循環推進課「一般廃棄物処理事業の概況」

埼玉県の1日

1人当たりごみの排出量 790g

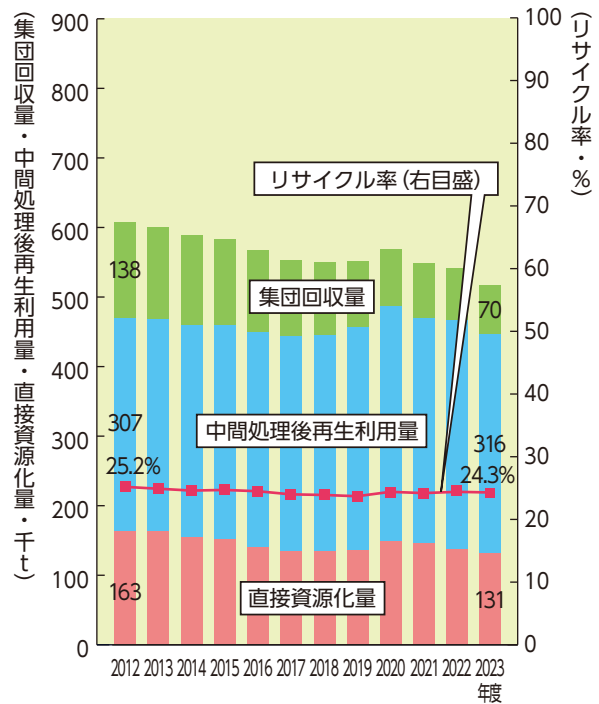
② ごみの分別収集をしている市町村数の割合 (2023年度)



注1 容器包装リサイクル法に基づき分別収集した市町村数の割合である。
2 実施市町村数は2024年3月末時点のものである。
資料：環境省「令和5年度容器包装リサイクル法に基づく市町村の分別収集等の実績について(令和7年3月28日報道発表)」

↑ スチール製容器、アルミ製容器の分別収集は、県内の全市町村で実施しています。

③ ごみのリサイクル状況の推移

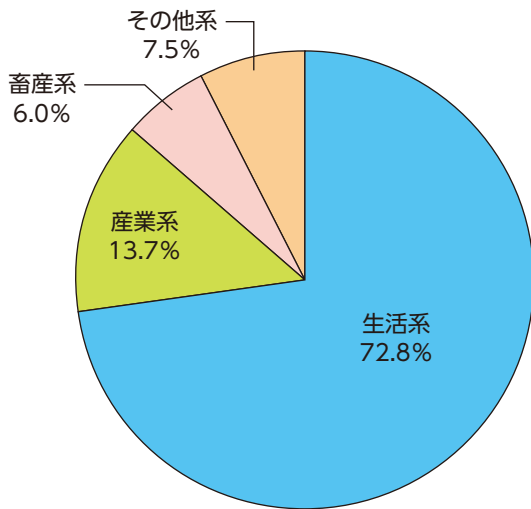


注) リサイクル率 (%)

$$= \frac{(\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量})}{(\text{ごみの総処理量} + \text{集団回収量})} \times 100$$

 資料：環境省「日本の廃棄物処理」

④ 河川の水質汚濁の原因 (2022年度)

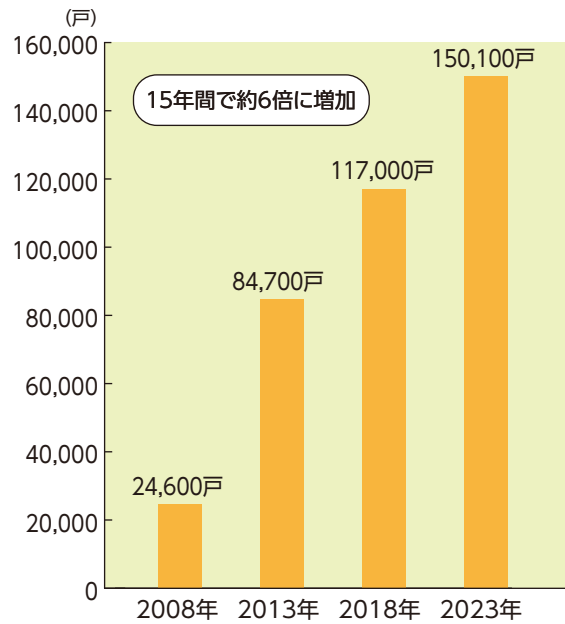


注)1 県内河川におけるBOD発生負荷量の原因別の割合である。
2 BODとは水中の有機物が微生物によって分解されるときに消費される酸素の量をいい、河川の水質汚濁の代表的な指標。数値が大きいくほど汚濁していることを示す。

資料：県環境政策課「埼玉県環境白書」

- 河川の水質汚濁の原因として最も大きいのは、家庭の台所や風呂などからの生活排水で、全体の約73%を占めています。

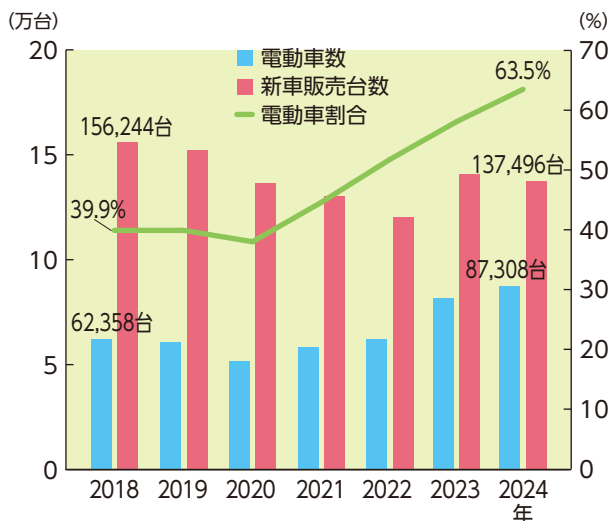
⑤ 太陽光発電のある住宅数 (各年10月1日現在)



資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」
県統計課「令和5年住宅・土地統計調査結果 埼玉県分の概要」

- 太陽光を利用した発電機器のある住宅数は、2008年から2023年までの15年間で約6倍の150,100戸に増加し、愛知県に次ぐ全国第2位になりました。

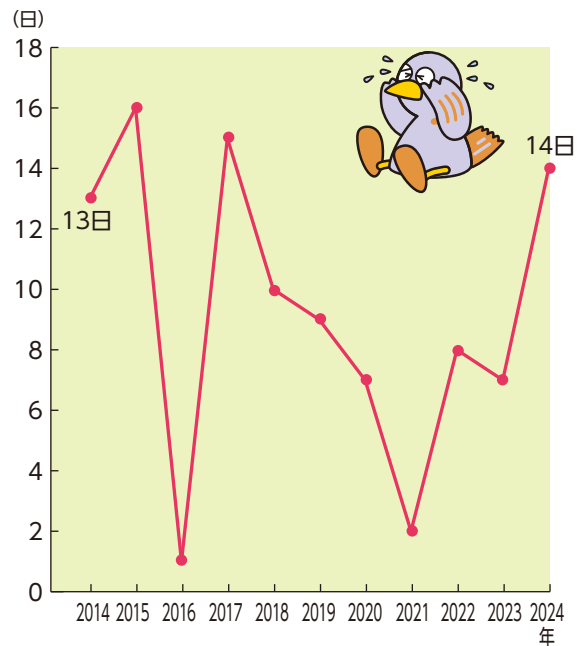
⑥ 新車販売台数における電動車の台数の推移 (各年3月31日現在)



注)1 軽自動車を除く。
2 電動車台数は電気自動車(EV)、ハイブリット自動車(HV)、プラグイン・ハイブリット自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)の合計。
資料：県環境政策課「埼玉県環境白書」

- 新車(乗用車)販売台数における電動車の割合は年々増加しており、2024年は約64%を占めています。

⑦ 光化学スモッグ注意報発令日数の推移



資料：県大気環境課「光化学スモッグの発生状況について(報告書)」

- 2024年の夏は光化学スモッグの発生しやすい気象条件(高温で日照時間が長く、風が弱い)となった日が多く、注意報の発令は最近10年間の平均発令日数(8.8日)を上回りました。